

5 Steps for Paragraph Writing

5つのステップで学ぶパラグラフ・ライティング

Akihiro Maeda

Junko Kono

Simon Rosati

TSURUMI SHOTEN

5 Steps for Paragraph Writing

Copyright © 2021 by MAEDA Akihiro, KONO Junko, Simon ROSATI
& OTOWASHOBO TSURUMISHOTEN

All rights reserved.

No part of this book may be used or reproduced without the written
permission of the publisher.

ISBN978-4-7553-0051-6

Photo credits

- © adrian_ilie825/stock.adobe.com
- © Ivelin Radkov/stock.adobe.com
- © Stuart Miles/stock.adobe.com
- © Monkey Business/stock.adobe.com
- © PRANGKUL/stock.adobe.com
- © Richie Chan/stock.adobe.com
- © duncanandison/stock.adobe.com
- © zolazo/stock.adobe.com
- © Michele/stock.adobe.com
- © fizkes/stock.adobe.com
- © doomu/stock.adobe.com
- © acrogame/stock.adobe.com
- © LaFifa/stock.adobe.com
- © Gorodenkoff/stock.adobe.com

はしがき

本書、“5 Steps for Paragraph Writing”『5つのステップで学ぶパラグラフ・ライティング』は、その名が示すように、step by stepで英語パラグラフの書き方を学ぶための教科書です。本書を手にする学生諸君は、英語でまとまった文章を書くという作業をしたことがないかもしれません。母語であったとしても、レポートを書く際に、何から書いたらいいかわからない、と戸惑った経験があるかもしれません。英語ならなおさらではないでしょうか。本書は、そのようなちょっと難しそうな文章化作業を、手順を踏んで学べるよう工夫されています。そのようにして学んだ文章化作業によって、説明力や説得力、発信力、論理的思考力が育成されます。このことは、レポートや論文の作成、さらには、社会に出て、プレゼンテーションをする際にも必ず役に立つはずです。以下、簡潔に本書のねらいを記しておきます。

まず第1に、簡潔に、要領よく書きたい内容を書くことのできる書き手の育成をねらいとしています。そのため、本書では全て10文程度のワン・パラグラフで構成される文章を作成することにしています。論理的な思考ができないと、物事を順序良く、簡潔に述べることはできません。このワン・パラグラフからなる英作文へのこだわりは、そのような論理的思考力の育成を目指すところに起因しています。

次に、本書はパラグラフ・ライティングの入門書として、「型」から学ぶように作られていることが挙げられます。文章内容の巧拙は各人の知識量や成熟度によるところが大きいですが、パラグラフの「型」は普遍です。どのレベルの学習者にも対応できるような「型」からまず学ぶことが、本書のねらいのひとつでもあります。

最後のねらいとして、「fluent（流暢）な書き手」を育成することです。それは、多少の誤りを気にすることなく、はじめから英語でどんどん書いていく、そのような書き手を指しています。誤りは書き終わってからの見直し時に修正すればよいと考えます。

以上の3点を念頭に学習してもらえれば幸いです。

最後に、コロナ禍の中にあって、直接お会いして打ち合わせることができませんでしたが、編集者としての視点から支えていただいた音羽書房鶴見書店の荒川昌史氏に心からお礼を申し上げます。

皆さんが社会に出て、本書で学んだことが少しでも役に立てば、著者としてそれは大きな喜びです。

2020年9月

著者代表 前田 哲宏

本書の使い方

本書の構成

本書は 14 章からなり、以下の 4 つのパートに分類することができます。

☆ Chapter 1, 2 : パラグラフ・ライティングに向けた準備編

- 英語学習者によく見られる誤用等から適切な英文の書き方を学ぶ
- パラグラフの基本構造 (Topic Sentences, Supporting Sentences, Concluding Sentences) を学ぶ

☆ Chapter 3, 4, 5, 6 : パラグラフ・ライティング実践編① (叙述文、描写文)

- 物事を順序立てて述べていく叙述文、描写文の書き方を学ぶ

☆ Chapter 7, 8, 9, 10 : パラグラフ・ライティング実践編② (説明文)

- 物事を定義し、具体例を挙げ、時には分類・比較しながら説明するパラグラフを学ぶ

☆ Chapter 11, 12, 13, 14 : パラグラフ・ライティング実践編③ (論述文)

- 自分の考え・意見・社会問題等について、理由や原因、根拠をつけて論述するパラグラフを学ぶ

パラグラフ・ライティングに向けた準備編 (Chapter 1, 2) について

Chapter 1 は、学習者にありがちな誤りに焦点をおいて、適切な英文を書いていくための練習問題が中心となっています。他には、文と文のつながりを意識した「つなぎことば」の一例とその練習問題があります。

Chapter 2 では、パラグラフの基本的な構造である Topic Sentences, Supporting Sentences, Concluding Sentences について、その役割を具体例と共に学びます。それぞれの役割を学んだ後、それらを意識して行う並べかえ問題があります。最後に、パラグラフを書く際の注意点として、5 つのルールを挙げています。

パラグラフ・ライティング実践編 ①、②、③ (Chapter 3~14) について

Chapter 3 以降の各章は、「5 つの step とコラム」で構成されています。以下にそれぞれの使い方を説明します。なお、Step 1～Step 3 は教科書内に解答が書き込めるようにしてあり、Step 4 と 5 については、巻末に綴じ込んである提出用の解答用紙を使用する形にしています。

Step 1. Structure of the Paragraph

はじめに目標となるパラグラフの構造（どのような順番で何が書かれているか）を学びます。サンプル・パラグラフを参考にして、パラグラフ構造の確認、サンプル・パラグラフの内容確認をします。サンプル・パラグラフ内の太字の語句は、パラグラフ作成の際に利用できる便利な表現や、覚えておくべき重要表現になります。これらは後のセクションやコラムでも取り上げられていることがありますので、しっかりとチェックしておくといよいでしょう。

Step 2. Useful Expressions

このセクションでは、目標となるパラグラフを書く際に役に立つ表現をまとめています。また、サンプル・パラグラフ内の太字表現もいくつかこのセクションで扱われています。Warm-Up の練習問題を通してこれらの表現の確認をしましょう。なお、練習問題には、さまざまな表現の確認ができるように、解答が複数あるものも含まれています。このセクションでは例示されていない表現については、ヒントとして（ ）内にアルファベットをあらかじめ記入しているものもありますので、難しいと思わずにチャレンジしてみてください。（次のセクションで扱う単語補充問題についても同様です。）

Step 3. Exercises

Exercises は全部で 10 問あります。(1) から (10) までの並びは、各章において目標となるパラグラフの構成そのままになっていますので、順に解いていくと、ひとつのパラグラフができるようになっていきます。テーマも最後のセクションの作文に向けて、似ているテーマを扱っていますので、その後のセクションに大いに参考になるはずです。また、Step 2 で扱われた表現もいくつか出題されています。

また、このセクションでの問題形式は 3 つあります。それぞれ、単語補充問題、部分英訳問題、和文英訳問題となります。教科書前半の章では、比較的容易な単語補充問題を用意しています。テキストの後半になるにつれ、解答自由度の高い問題（部分英訳問題や和文英訳問題）が増えていきます。

Step 4. Outlining（巻末の解答用紙を使用します）

与えられたテーマでパラグラフを書く前のアウトライン（大まかな内容）をここで作成していきます。Topic Sentences, Supporting Sentences, Concluding Sentences の順に、何を書いていくのか、話の流れがわかるように書きます。英語の問い等が書かれていますので、メモ書き程度でそれに答えていけばよいでしょう。

Step 5. Writing (巻末の解答用紙を使用します)

アウトラインが出来上がったら、実際にその流れにそって英語でパラグラフを書いていきます。自分で調べた単語や表現は右側スペースに記入しましょう。

コラム

コラムでは、筆者達がこれまで英作文指導をしてきた中で、特に注意を促したい事柄をピックアップし、それらを簡潔に説明しています。主には、英作文によくある語法上の誤りやより良い英作文のためのアドバイスを扱っています。

目 次

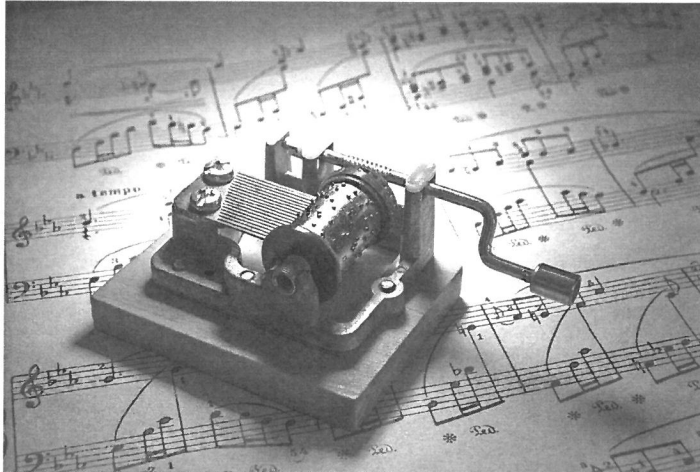
Table of Contents

はしがき	i
本書の使い方	ii
Chapter 1 英作文の基本 (Basics for English Composition)	1
Chapter 2 パラグラフとは何か (What is a Paragraph?).....	6
Chapter 3 手順・手続きの説明 (Procedure / Process)	12
Chapter 4 時間的順序 (Chronological Order)	18
Chapter 5 空間配列 (Spatial Order)	24
Chapter 6 グラフ描写 (Graph Description)	30
Chapter 7 定義文 (Definition)	36
Chapter 8 例 証 (Illustration).....	42
Chapter 9 分 類 (Classification)	48
Chapter 10 比較対照 (Comparison and Contrast).....	54
Chapter 11 意見と理由 (Opinion and Reasons)	60
Chapter 12 原因と結果 1 (Cause and Effect 1).....	66
Chapter 13 原因と結果 2 (Cause and Effect 2).....	72
Chapter 14 問題と解決策 (Problem and Solutions).....	78

解答用紙

Chapter 8

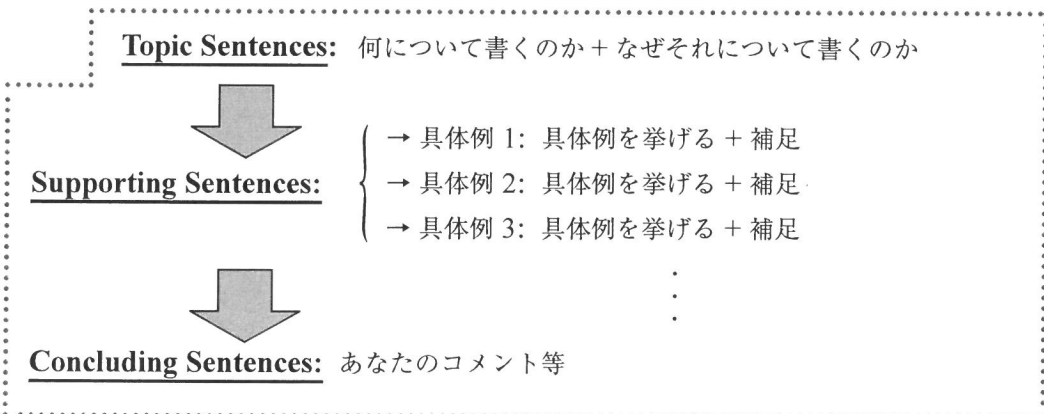
例 証 (Illustration)



本章では、ある事柄・事象に対して具体的な例を挙げながら、その事柄・事象を説明していくパラグラフを作ります。具体例を挙げることで、主題文で言われていることを証拠立てて述べることができます。また、具体例が読み手の理解促進にも役立ちます。パラグラフの展開としては、まず主題文を述べ、その後具体例を複数出し、主題文の説明をしていきます。この章の目標は、世界各地で使われている日本語を紹介するパラグラフを完成させることです。

Step 1. Structure of the Paragraph

□ 以下の図でパラグラフの流れを理解しましょう



□ サンプル・パラグラフを読んでみましょう

Some everyday words originated in other countries. They are known as loan words and in Japanese, they are often written in *Katakana*. Japanese people usually think that *Katakana* words are from English, but they are often not. **For example**, we call part-time jobs “*arubaito*” in Japan. It originally came from the German word, “Arbeit,” meaning “job (or work)” in English. **Another example** is “*maron*,” meaning “chestnut” in English. Do you know where it came from? It came from French, “marron.” **Lastly**, because Japan opened its gate only for the Netherlands in the Edo period, many Dutch words, **such as** “gom” (“rubber” in English), and “orgel” (“music box”) were imported. You may not know that the original word for “*otenba* (お転婆)” is also a Dutch word, “ontembaar” (“a spirited girl”). Of course, there are many more imported words which are in daily use in Japan. The more you find, the broader your horizons will become.

□ パラグラフの内容をまとめましょう

(1) トピックは何ですか。

(2) 1 つ目の例は何ですか。

(3) 2 つ目の例は何ですか。

(4) オランダからの外来語が多い理由は何ですか。

(5) その他の例は何ですか。

(6) Concluding Sentences では何とっていますか。

Step 2. Useful Expressions (役に立つ表現を理解しましょう)

★ 例証する時に用いられる動詞

「…を説明している」: illustrate(s)

(例) How hard he studied last night illustrates his attitude.

「…を示している」: show(s), demonstrate(s)

(例) The result shows / demonstrates our guess was right.

★ 具体例を示す時の表現

「例えば…」: for example, for instance, to illustrate

「…のような」: such as ..., such ~ as ..., like ...

「実例として」: by way of illustration

「…の例証として」: in illustration of ...

★ For example の使い方

以下の英文の下線部分を比べてみましょう。

- × I planted many kinds of flowers in my garden. For example, sunflowers, tulips, and pansies.
- I planted many kinds of flowers in my garden, for example, sunflowers, tulips, and pansies.
- I planted many kinds of flowers in my garden, such as sunflowers, tulips, and pansies.

□ Warm-Up

- (1) 表 1 は、人々がミネラルウォーターを購入する割合の変化を示している。

Table 1 () the percentage () of people buying mineral water.

- (2) 図 2 は何を説明していますか。

() does Figure 2 ()?

- (3) 例えば、盆踊りは日本の伝統舞踊のひとつである。

() (), the Bon festival dance is a Japanese traditional ().

- (4) わが社を例にとると、通常は、従業員の定年は 60 歳です。

Take our company for (), employees usually () at the age of 60.

- (5) この表現は、以下のような場面でよく用いられる。

This phrase is often used in situations () () the following.

Step 3. Exercises (日本語にあうように英語にしましょう)

- (1) コンピュータのもともとの意味を知っていますか。
Do you know the original () of ()?
- (2) もともとは「計算をする人」の意味であったという人たちもいる。
Some () say it originally () people who perform calculations.
- (3) コンピュータも人間もウイルスに感染する可能性がある。
Both () and human beings () possibly be infected with a virus.
- (4) コンピュータも人間もウイルスに感染すると調子が悪くなる。
() computers nor human beings work well when they catch a ().
- (5) コンピュータ用語の多くは、動作音や機器の形状を英語で表したものである。
Many computer words () the operating sound or () of the device in English.
- (6) 例えば、マウスのボタンを押すことを「クリック」と呼ぶ。
() (), we call the action of () a button on the () “click.”
- (7) それは、ボタンを押した時の音を意味している。
It () the sound produced () we press a button.
- (8) 他の例としては、「マウス」がある。
() () is “a mouse.”
- (9) それはネズミの形をしていることから「マウス」と呼ばれている。
It is () “mouse” because it is () like a mouse.
- (10) 語源を知れば、コンピュータ用語の理解は易しいとわかるのではないだろうか。
By knowing the () of computer words, you will () it easy to () them.

Paragraph Writing

ここでは、「世界各地で使われている日本語の紹介文」を書いていきます。

Step 4. Outlining (アウトラインを完成させましょう)

巻末の解答用紙に記入しましょう。

Topic Sentences

(1) What are you going to write about?



Supporting Sentences

(2) Example 1: What is it? + α (where is it used? etc.)

(3) Example 2: What is it? + α (where is it used? etc.)

(4) Example 3: What is it? + α (where is it used? etc.)



Concluding Sentences

(5) Your comments, etc.

Step 5. Writing (パラグラフを書いてみましょう)

巻末の解答用紙に記入しましょう。

《another と other》

どちらも似たような意味を持ち、この2つの単語の使い分けが難しいという人は少なくありません。ここで2つの違いを確認しておきましょう。

• another は…

- (1) an + other 「もうひとつ (ほか) の・もうひとり (ほか) の」の意味を持つ。
- (2) 基本的に後ろには単数名詞がくる。
- (3) 「追加でもうひとつ」の意味も持つ。
- (4) one more に置き換えが可能である。

Can I have another glass of water?

This banana is good. I want another one.

Another example is ...

• other は…

- (1) the other は another と同じく単数名詞を指し、「残りのひとつ・ひとり」を意味する。2つあるうちの「もう一方」を意味する。

I have two brothers. One lives in Osaka, and the other lives in Kyoto.

- (2) the others となると、「(複数あるうちの) 残りのすべてのもの・人」を意味する。

I have three brothers. One lives in Osaka, and the others live in Kyoto.

- (3) others は、the がないので不特定のものを指し、「他のいくつかのもの・人」を意味する。

Some people may say “Yes.” Others may say “No.”

